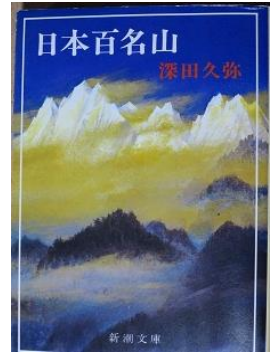


◎百名山に挑戦してみよう

「礼文島から眺めた夕方の利尻岳の美しく烈しい姿を私は忘れる事が出来ない」で始まる作家登山家の、深田久弥の「日本百名山」の本はあまりにも有名であり、ここに記された、日本の百の頂を登頂しようと試みる登山者が多い。この本の初版が発行されたのが昭和39年(1964年)だから今、半世紀が経とうとしている。彼が登った当時は登山道が整備されておらず、例えば「平ヶ岳」などは地元の方々の協力を得ながら沢から入り、尾根の厳しいヤブコギをしながら3日をかけてやっと頂上を踏めたようである。この山に限らず、各山とも相当の苦労が俵ばれる。幾多ある山の中から100の山を選ぶのは容易でない。とやかく言う人もいるが、二番煎じであり彼の功績を素直に評価したい。これが停滞気味の登山人口の嵩上げの一翼を担っている事は確かであり、山登りに明確な目標を与えてくれた事は否めない。改めて、今まで登った山を振り返り、「百名山」に何個ヒットしているか調べ、長期目標として位置づけてみるのも良いであろう。ここではその概要を見て見よう。



深田久弥の日本百名山

①百名山の解説書

百名山はブームになって20年近くになる。その間各出版社から「百名山」に登る為の解説書が数多く出版されている。今でも書店の山書籍の特等席をこの関連本が占めている。その間、ビデオも発行されており、事細かい説明や、雑誌では説明しきれない絶景の臨場感を味あわせてくれる。更にNHKを始め、民放でも放映されており、より身近な存在になっている。余裕が出来たら是非一度挑戦してみたい。



百名山の解説本

②百名山の分布

何と言ってもその分布は中部山岳地帯に集中している。止むを得ない事であろう。地域で見ると次のようになっている。

- ・北海道:利尻岳、羅臼岳、斜里岳、阿寒岳、大雪山、トムラウシ、十勝岳、幌尻岳、羊蹄山の9座である。
  - ・東北:岩木山、八甲田山、八幡平、岩手山、早池峰、鳥海山、月山、朝日岳、蔵王山、飯豊山、吾妻山、安達太良山、磐梯山、会津駒ヶ岳、那須岳、燧岳の16座
  - ・近畿地方:大峰山、大台ヶ原の2座
  - ・中国地方:大山の1座
  - ・四国地方:剣山、石鎚山の2座
  - ・九州地方:久住山、祖母山、阿蘇山、霧島山、開聞岳、宮の浦岳の6座
- 残りの64座は中部、関東、北陸地方に分布しており偏りがある。

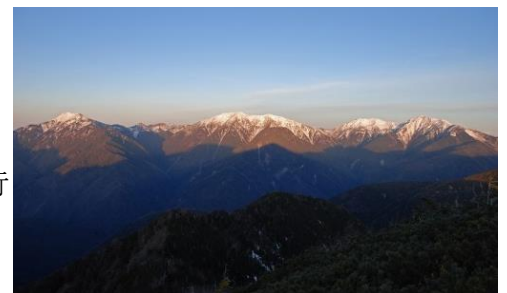


最も低い筑波山

③百名山の登り方

まずどんな解説本でも良いから購入し、百名山の名前を確認しよう。そして登った山をチェックし把握しておこう。後は目標を立て、挑戦してみよう。一から始めると現実には2~3百万円の費用が掛かると言われており、費用を安く抑える思案も達成の大きなファクターである。

- ・関東、中部山岳等  
当会の年間山行計画等にも百名山が多く含まれるので車等を利用した山行に参加すればメリットがある。そして単峰登頂でなく縦走等が可能であれば複数峰を効率良くゲットしよう。勿論テント山行は格安である。
- ・北海道、九州等の山



3000m級が連なる南ア聖岳~赤石岳~悪沢岳

これらの山を一人で登るのは費用がかかりすぎる。仲間を集めレンタカーなど使う方法もある。それが出来なかったら、ツアー登山を利用する方法もある。ツアー登山は百名山に特化しているので、うまく組み合わせれば単独で動くより安く、効率が良いので、パンフレット等を取り寄せて日頃研究しておくが良い。

・その他

東北、近畿等は日頃から行きたい山として、先輩等に話しておけばチャンスがあるかもしれない。又旅行の際など、常に頭に入れておいてアタックの機会をうかがう事が大切。理想は気の合った仲間を作りお互い刺激し合って目標の共有する事が良いと思う。

◎驚きなのが、平成26年ブロードベンチャーレーサーの田中陽希さんが屋久島の宮ノ浦岳~北海道の利尻岳まで陸上は自分の足で海上はカヤックだけで一筆書きによる百名山登頂に成功しています。7ヶ月間7800kmの踏破です。素晴らしい！脱帽です。



日本二百、三百名山ガイド

④日本二百名山、三百名山

日本百名山は深田久弥が定めたが、日本二百名山は深田久弥クラブの方々が選定しました。日本三百名山は経緯はありますが日本山岳会が選定した山です。基本的に二百名山は三百名山に含まれますが、奥只見の荒沢岳は唯一、三百名山には含まれていません。

⑤各地の百名山、等

日本百名山にあやかり、いろいろな地方の百名山の本が発売されています。「山梨百名山」「関東百名山」「東北百名山」等、更には各県別の山の紹介本など多くの山が紹介されており、随分登りやすくなっています。皆さんも目標を持って登ってみてはいかがでしょうか。



各県、各地方の百名山